

平成 22 年度 がん対策予算に向けた提案書  
～元気の出るがん対策～

がん対策推進協議会 提案書取りまとめ担当委員  
(がん施策・予算提案ワーキンググループ)

2009 年 2 月 26 日

## 目次

◆要旨.....	5
1 提言の概要.....	5
2 推奨施策の内容.....	6
3 がん予算WGとは.....	6
◆はじめに.....	9
1 本提案書とワーキンググループについて.....	9
1-1 本提案書の位置づけ.....	9
1-2 現状に対する問題意識.....	10
2 がん予算の現況.....	12
2-1 がん予算の概況および推移.....	12
2-2 国の予算.....	12
2-2-1 国の予算の概算要求と予算案の変化.....	12
2-2-2 国の予算の項目別使用率（消化率）.....	13
2-3 都道府県の予算.....	13
2-3-1 予算額の水準.....	13
2-3-2 大きな都道府県格差.....	13
2-3-3 ハード偏重.....	14
2-3-4 国庫補助金の活用状況.....	14
2-3-5 都道府県単独事業.....	14
2-3-6 好事例と創意工夫の兆し.....	14
2-3-7 都道府県別がん検診費用.....	15
3 意見集約のプロセスとアンケート結果の概要.....	15
3-1 都道府県庁がん対策担当者アンケート.....	15
3-2 都道府県がん対策推進協議会委員アンケート.....	15
3-3 タウンミーティング.....	16
3-4 アンケート結果.....	17
3-5 タウンミーティングでの回答.....	18
3-6 考察.....	19
4 実施すべき改革（提案の骨子）.....	19
◆提案.....	21
1 がん対策の総論.....	21
1-1 全体テーマ① がん対策全般にかかる事項.....	21
1-1-1 推奨施策.....	21
1-1-2 意見の要約（問題点と改善点）.....	23
1-1-3 寄せられたご意見（コメント）から.....	26
1-2 全体テーマ② がん計画の進捗・評価.....	27
1-2-1 推奨施策.....	27
1-2-2 意見の要約（問題点と改善点）.....	27
1-2-3 寄せられたご意見（コメント）から.....	28
2 分野別施策.....	30
2-1 分野1 放射線療法及び化学療法の推進並びに医療従事者の育成.....	31

2-1-1	推奨施策	31
2-1-2	意見の要約（問題点と改善点）	32
2-1-3	寄せられたご意見（コメント）から	33
2-2	分野 2 緩和ケア	34
2-2-1	推奨施策	34
2-2-2	意見の要約（問題点と改善点）	34
2-2-3	寄せられたご意見（コメント）から	35
2-3	分野 3 在宅医療（在宅緩和ケア）	37
2-3-1	推奨施策	37
2-3-2	意見の要約（問題点と改善点）	38
2-3-3	寄せられたご意見（コメント）から	38
2-4	分野 4 診療ガイドラインの作成（標準治療の推進）	40
2-4-1	推奨施策	40
2-4-2	意見の要約（問題点と改善点）	40
2-4-3	寄せられたご意見（コメント）から	41
2-5	分野 5 医療機関の整備等（がん診療体制ネットワーク）	42
2-5-1	推奨施策	42
2-5-2	意見の要約（問題点と改善点）	42
2-5-3	寄せられたご意見（コメント）から	43
2-6	分野 6 がん医療に関する相談支援及び情報提供	45
2-6-1	推奨施策	45
2-6-2	意見の要約（問題点と改善点）	46
2-6-3	寄せられたご意見（コメント）から	46
2-7	分野 7 がん登録	48
2-7-1	推奨施策	48
2-7-2	意見の要約（問題点と改善点）	48
2-7-3	寄せられたご意見（コメント）から	49
2-8	分野 8 がんの予防	51
2-8-1	推奨施策	51
2-8-2	意見の要約（問題点と改善点）	51
2-8-3	寄せられたご意見（コメント）から	52
2-9	分野 9 がんの早期発見（がん検診）	54
2-9-1	推奨施策	54
2-9-2	意見の要約（問題点と改善点）	55
2-9-3	寄せられたご意見（コメント）から	55
2-10	分野 10 がん研究	58
2-10-1	推奨施策	58
2-10-2	意見の要約（問題点と改善点）	58
2-10-3	寄せられたご意見（コメント）から	59
2-11	分野 11 疾病別対策（がんの種類別対策）	61
2-11-1	推奨施策	61
2-11-2	意見の要約（問題点と改善点）	61
2-11-3	寄せられたご意見（コメント）から	62
3	推奨施策の解説	63
3-1	施策に共通的に見られた側面	63
3-2	推奨施策のタイプ分けと若干の考察	67

◆おわりに.....	71
・ 今後のプロセスの参考に .....	71
・ 平成 22 年度予算で確実な変化と成果を .....	71
・ 謝辞 .....	71

# 平成 22 年度 がん対策予算に向けた提案書

～元気の出るがん対策～

## 【要旨】

がん対策推進協議会 提案書取りまとめ担当委員  
(がん施策・予算提言ワーキンググループ)

2009 年 2 月 26 日

### ◆要旨

#### 1 提言の概要

- (1) がん対策予算を大幅に増やす必要がある
- (2) がん対策予算の策定プロセスを改善すべきである
- (3) 59 本の推奨施策への取り組みを進めてほしい

今回、がん対策推進協議会提案書取りまとめ担当委員（いわゆる、がん施策・予算提言ワーキンググループ。以下、がん予算WG）がまとめた「平成 22 年度 がん対策予算に向けた提案書～元気の出るがん予算～」は、上記の 3 点を提案する。

- (1) がん対策予算を大幅に増やす必要がある

がん対策予算の大幅増額が必要と考える。

がん予算WGは、都道府県のがん対策推進計画の進捗管理に当たる都道府県がん対策推進協議会委員と県庁がん対策担当者を対象に、アンケートを実施した（回答 186 人）。その回答では、がん予算の規模が「十分」とするものが 14%、「不十分」が 86%であった。また、自由記述式の回答欄には、予算不足のため適切な対策が打てないとの意見が多数あった。都道府県財政が悪化するなか、がん対策基本法およびがん対策推進基本計画が掲げる理念と目標を達成するためには、国のがん対策予算の大幅増額が欠かせない。

- (2) がん対策予算の策定プロセスを改善すべきである

アンケートでは、がん対策および予算の問題点と改善点を自由記述方式で尋ねたが、その回答からは、予算策定プロセスの改善の必要性が浮き彫りになった。なかでも、国と都道府県などの地方自治体とのコミュニケーションが不足している。国が、都道府県や地域がん診療連携拠点病院などの地域や現場のニーズをよく把握して予算案を策定し、予算案ができたときはそれが十分に活用されるよう、丁寧な情報提供と説明を行うことが重要である。地域でがん対策に取り組む人々から広く意見を聞いて、国のがん対策を立案するプロセスを導入することが求められる。

- (3) 59 本の推奨施策への取り組みを進めてほしい

がん予算WGは、先にふれた都道府県庁と都道府県がん対策推進協議会委員を対象としたアンケートの他に、タウンミーティングを開催し広く意見を聴取した。集まった意見を踏まえて、下表のように 59 本のがん対策予算に関する推奨施策を作成した。がん対策全般を有効にするための施策 8 本と、個別分野にかかる施策 51 本から成る。がん予算 WG は、これら推奨施策

が精査のうえ、できるだけ多く採用・実施されることを望むものである。

●元気の出るがん対策：

現在、多くの都道府県が財政難に悩んでいる。また、国と地方自治体のコミュニケーションが不十分で相互の信頼感も強くはない。がん対策を強化するためには、地域の医療関係者と患者・市民などの連携活動もまだ足りない。がん対策に若干の沈滞ムードもただよっているところである。今こそ、本提案書を実行するときだ。そうすれば、国と地域の両方のレベルで、多くの当事者が共にがん対策にさらなる力を入れ、信頼と協業に基づき、活力ある有効ながん対策が進むだろう。そういう意味で、われわれは「元気の出るがん対策」を提示したと考える。

## 2 推奨施策の内容

表のように、13の分野に関し合計 59本の推奨施策を作成した。

59本の中に、下記 5点の重要テーマを発見した。

- ① がん難民対策（切れ目のない医療の実現）
- ② がん診療にかかる医療従事者の確保と育成
- ③ がんおよびがん対策の現況の“見える化”（可視化）
- ④ がん対策の情報提供と普及啓発
- ⑤ 地域のベストプラクティス（好事例）の育成・発掘と全国浸透

## 3 がん予算WGとは

がん予算WGは、2008年11月28日の第8回がん対策推進協議会において、2010年度（平成22年度）の政府がん対策予算に関する提言を行うため設置された。協議会委員18人中10人（患者関係者代表委員4人、医療従事者代表委員4人、有識者委員2人）が参加。アンケートやタウンミーティングを実施したほか、5回の会議を開催し、本提案書を取りまとめた。

本提案書は、がん対策推進協議会で承認されたのち、厚生労働省に提出されることを想定している。